

畜産政策・予算確保に関する緊急要請について

令和4年4月5日
全国肉牛事業協同組合
理事長 中林 正悦



新しい国際環境の下、わが国の肉用牛生産基盤の維持・強化を図るため、引き続き、牛マルキン、肉用子牛基金、各種補完事業等、措置いただいた関連対策の着実な実施に必要な予算の確保に加えて、家族経営を中心とする肉用牛生産の維持・発展のための支援をお願いします。

特に、国際的な紛争、需給の変化、ロジスティクスの停滞、円安等を背景として、配合飼料等重要な生産資材の異常な高騰が続き、畜産経営においては、緊急的なご支援が必要な状況に追い込まれております。これらの厳しい状況をご賢察の上、地域社会の中核となっている畜産経営が、今後も安定的・継続的に発展できますよう、大所高所からのご指導、ご支援をお願いします。

記

1 配合飼料、粗飼料等生産資材の高騰への支援

昨年来配合飼料価格が高騰しており、ウクライナ情勢等もあって、肉用牛生産者は、まったく先が見通せず極めて厳しい状況に陥っております。高止まり状態が続くと、配合飼料価格安定制度の支援が小さくなり、基金の財源不足も顕在化します。加えて、乾牧草等粗飼料、燃油等生産資材の高騰も続き、子牛価格も下がっていない状況において、牛マルキンの発動はしばらく後になると見込まれること等から、短期的にキャッシュフローが厳しくなる経営が続出すと見込まれます。

生産者の経営努力では如何ともし難い要因による切羽詰まった状況ですので、当面の経営危機を乗り切るためのご支援をお願いします。

2 中長期的な経営安定対策への支援

- ① 自給飼料生産基盤強化対策の一層の充実
- ② 配合飼料価格安定制度の安定的な運営のための検証
- ③ 肉用牛経営にとって不可欠な良質粗飼料の供給元の多元化
- ④ 米国向け輸出の安定的拡大に資する日本産牛肉の低関税枠の拡大

3 「みどりの食料システム戦略」に即したエネルギー対策取組等への支援

肉用牛生産者は、周辺環境に配慮しつつ世界に誇れる牛肉の安定的な供給を目指し日々取り組んで来ているとの自負があります。その取組を国民に正確に理解して頂くためには、科学的根拠に基づく正確な情報発信等を粘り強く続けるとともに、肉用牛生産者が行う温室効果ガス削減等の取組の一層の推進が必要と考えております。

また、燃油等エネルギーコストも高騰していることから、自らの牛舎屋根に太陽光パネルを設置したいとの希望も増えております。

そういった生産者の切実な取組等に対して、適宜・適切にご指導・ご支援をお願いします。